

2017年3月11日

広瀬 隆

3・11 東電合同抗議へメッセージ

ついに福島原発事故から6年目の日を迎えた。

日本に住むほとんどの人は「事故と被害は終わった」と勘違いしているが、現在も「原子力緊急事態宣言」が発令中で、危機が続いており、福島第一原発の事故現場では、大量の放射能放出が続いているのだ。

昨年11月には、ついに福島県沖の海底で、マグニチュード7.4の大地震が起こった。これは1995年の阪神大震災より大きな地震であった。東京でも、しばらく揺れが続いてこわかったのだから、福島の人たちの恐怖は察するに余りある。

かろうじて爆発を免れた福島第二原発では、この地震で、燃料プールの冷却が一時できなくなった。

しかし、これは海底の地震であり、私が最もおそれている陸上の直下地震ではなかった。福島原発のすぐ近くには、宮城県にまで達する内陸の70キロメートルという長大な双葉断層があって、マグニチュード8近い巨大地震を起こすおそれが高い。

東日本大震災からちょうど1ヶ月後に、その周辺断層が動いて1メートルを超える上下のズレを起こしたからである。

今後も、大きな地震が発生すれば、福島第一原発に何が起こるか分らない。

東京電力よ、しっかりしろ！ 東北地方・関東地方を廃墟にするな。